

## 特定標準器「液体流量校正施設」の一時停止について

特定標準器「液体流量校正施設」は、水の大流量および中流量（0.3～3000m<sup>3</sup>/h）において標準供給を行う設備である。本設備の主要部分のひとつであるテストラインは、現在テントにより覆われているのみであり、校正環境としては改善が望まれるものであった。これを高度化し、より効率的な校正を可能とするため、建物を新設しテストラインをその中に収容する工事を行う。工事期間は特定標準器を稼働させることができないが、jcss校正是停止期間前に予め値付けを行ったトランスファースタンダード（流量計）を用いて出張校正を行うので、特定標準器の停止の影響を受けずに継続的な標準供給が可能である。

